

CRONUS | 2P

3チャンネルの 波長可変フェムト秒レーザ



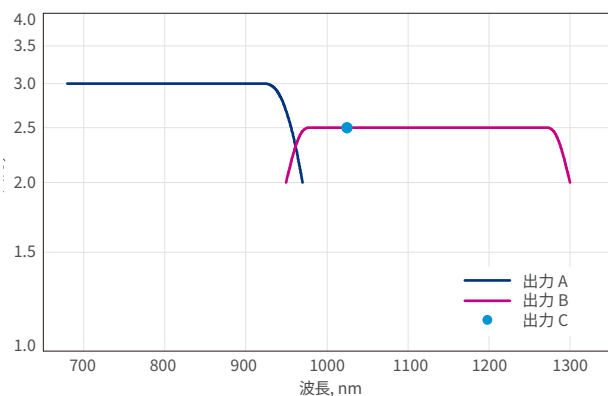
高い繰り返し周波数における
Wレベルの出力で、
高速イメージングに対応

マルチビームの同時励起
2つの可変波長出力と
1つの固定波長出力

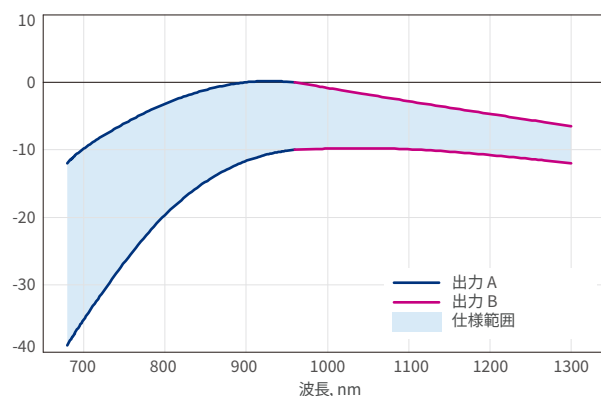
自動GDD制御で、
サンプルでの最短パルスを実現

高い出力とビーム安定性を実現する
産業用グレードデザイン

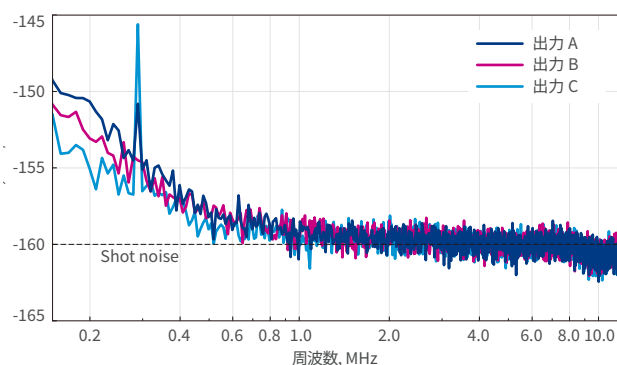
CRONUS-2Pのチューニング曲線



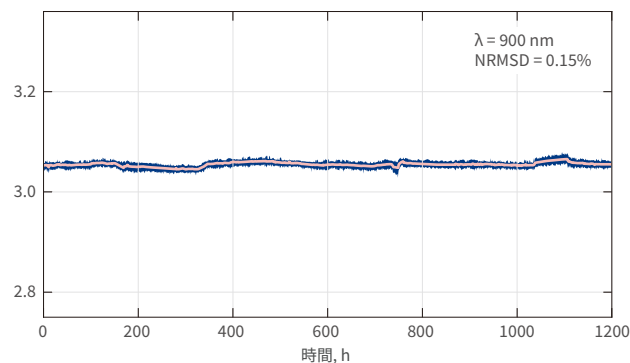
GDD制御範囲



CRONUS-2Pの相対強度ノイズ (RIN)



CRONUS-2P出力安定性典型値 (波長: 900 nm)



仕様

モデル	CRONUS-2P		
	出力A	出力B	出力C
波長可変範囲 ¹⁾	680 – 960 nm	940 – 1300 nm	1025 ± 10 nm (固定)
平均出力 ^{2) 3)}	> 3 W @ 920 nm	> 2.5 W @ 1100 nm	> 2.5 W
パルス幅 ^{4) 5)}	< 160 fs		
繰り返し周波数	77 ± 1 MHz		
ビーム品質 (M^2) ^{3) 4)}	< 1.2		
偏光	リニアール, 水平		
ビーム拡がり角 (全角)	< 1 mrad		< 1.5 mrad
ビーム径 ($1/e^2$) ⁴⁾	3.0 ± 0.4 mm	3.2 ± 0.4 mm	2.8 ± 0.4 mm
ビーム楕円率 ⁴⁾	> 0.8		
ビーム非点収差 ⁴⁾	< 20 %		
ビームポインティング安定性 ⁶⁾	< 200 μ rad		n/a
長時間出力安定性 (24時間) ^{4) 7)}	< 1 %		
GDD制御範囲	-10 000 から -35 000 fs ² @ 700 nm -3 000 から -20 000 fs ² @ 800 nm 0 から -10 000 fs ² @ 920 nm	0 から -10 000 fs ² @ 960 nm -3 000 から -10 000 fs ² @ 1100 nm -8 000 から -12 000 fs ² @ 1300 nm	n/a

出力制御 (オプション)

波長可変範囲 ⁸⁾	680 – 960 nm	940 – 1300 nm	1025 ± 10 nm (固定)
平均出力 ⁹⁾	> 2 W @ 920 nm	> 2 W @ 1100 nm	> 1.5 W
立ち上がり/立ち下がり時間 ¹⁰⁾	< 300 ns		
コントラスト比	1000:1		
GDD制御範囲	0 to -6 500 fs ² @ 920 nm	0 to -10 000 fs ² @ 1100 nm	n/a

波長拡張オプション (UV-VIS)

第2高調波チューニング範囲	340 – 480 nm ¹¹⁾	480 – 650 nm ¹¹⁾	n/a
ピーク時の変換効率	> 30 %		

動作環境要件

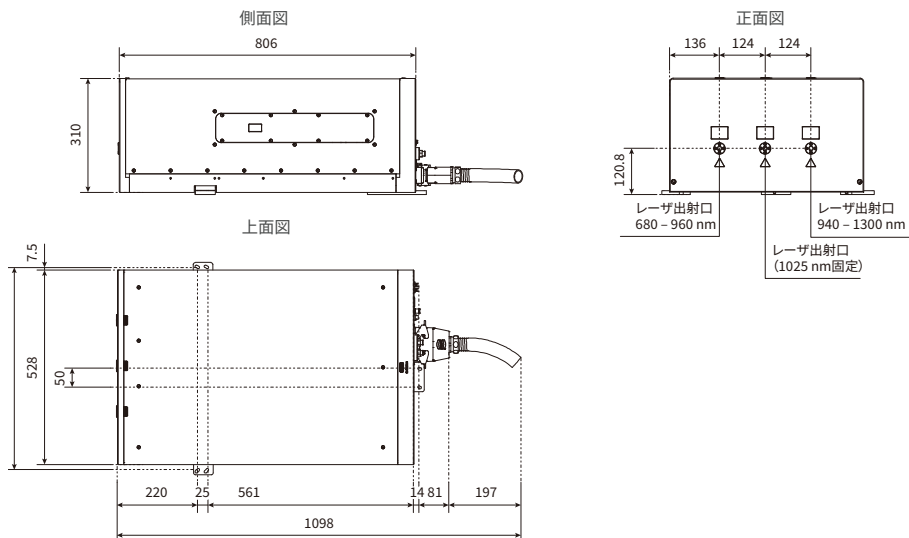
参照 www.lightcon.com¹⁾ デュアル出力Aまたはデュアル出力Bの構成提案が可能です。²⁾ 同時発振モード: > 1 W @ 920 nm, > 1 W @ 1100 nm, > 2.5 W @ 1025 nm。³⁾ AOMを使用した出力制御が可能です。仕様は下記をご覧ください。⁴⁾ 920 nm, 1100 nm, 1025 nmで規定されています。⁵⁾ IRパルス幅は、sech²にて規定。⁶⁾ ビームポインティング偏差は、全波長領域、GDD範囲に適用。⁷⁾ 1時間のウォームアップ後の温度変化は±1°C未満の環境における、正規化平均二乗偏差 (NRMSD)。⁸⁾ デュアル出力Aまたはデュアル出力Bの構成提案が可能です。⁹⁾ 同時発振モード: > 0.7 W @ 920 nm, > 0.7 W @ 1100 nm, > 1.5 W @ 1025 nm。¹⁰⁾ 5 % ~ 95 % の範囲で規定されています。¹¹⁾ 複数の第2高調波オプションをご用意しています。

危険: 可視/不可視のレーザー放射。直接、反射、散乱光の目または皮膚への被ばくを避けること。

クラス4レーザー製品

外形図

CRONUS-2P 外形図



**PHOTO
TECHNICA** <https://www.phototechnica.co.jp>
 フォトテクニカ株式会社
 〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2-18-2
 TEL : 048-871-0067 FAX : 048-871-0068
 e-mail : voc@phototechnica.co.jp

